

専徳寺報

第420号

平成27年9月20日発行

浄土真宗本願寺派
専徳寺

ついたち礼拝(月のはじまりをお寺から) 10月1日(木)・11月1日(日)

〒740-0044 岩国市通津2764
☎0827-38-1124 FAX38-1000

<http://sentokuji-iwakuni.net/>

専徳寺

検索

秋讃仏会(彼岸会) 法要

併修終戦70周年戦没者追悼法要

御案内

秋のお彼岸をご縁に讃仏会法要をつとめます。
9月は敬老の月です。最後の日(30日、法要2日目)に、ご両親等、「参りたいが足が悪くて」というご高齢の方をお連れして、ご一緒に聴聞されれば意義深いことです。
緒にお聴聞されれば意義深いことです。
にぎにぎしくご参詣ください。

日時

9月29日(火)	昼 1時30分～3時30分
	夜 19時30分～21時
30日(水)	昼 (ご満座) 1時30分～3時30分

ご講師

本願寺輔教 成 照星 師 (太宰府市)

●法座奉仕：保津地区 ※ご満座後の片づけをお願いいたします。

●戦没者追悼法要 29日昼座

●戦没者を追悼し、ご遺族の焼香があります。

●参拝セット(念珠・聖典・式章・聴聞カード)どうぞお持ちください。

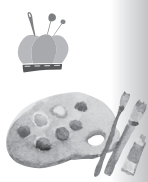
秋の展示会

ご門徒の方の作品を展示いたします。

どうぞご覧ください。

●作品募集「秋の展示会」

今年も絵画・手芸品・工芸品等、皆様の作品を募集いたします。法要前々日(27日)までにお持ちください(難しければご連絡ください)。11月の永代経法要まで展示させていただきます。



如来・人・言葉

101

このたび掲載する高松悟峰和上は、百年の伝統をもつ「真宗学寮」(広島市西区南観音)の初代学頭です。また併設する「広島仏教学院」の初代院長でもあります。安芸の僧侶・門徒の教化に生涯つとめられた方です。(住職)

我が身に引き受けて聞くべし

高松悟峰

真宗の肝要といえは、ご信心を得させてもらうことでもあります。

しかるに信心ということが、何か特別なことのように思い、何か変わったものが胸の中にできるように思う。それで、それが得られぬと言って大変心配する。

しかし、そうではないのです。信心とは文字からいただいても、「まことにする」と言う。如来さまが私の心を本真にするのです。この本真にさせてもらったのが信心であつて、その外に何もありません。

「信心獲得すといふは第十八の願をこころうるなり。この願をこころうるといふは、南無阿弥陀仏のすがたをこころうるなり」

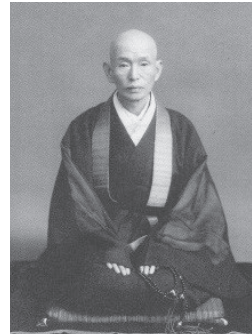
〔浄土真宗聖典(註釈版) 1192頁〕

「第十八願を心得る」というのは、「お前の後生(後世、来世)をうけあうぞ」のお約束をそのまま引き受けることです。それは言い換えると「南無阿弥陀仏のお喚び声

午前9時より45分間

がまこと（本真）になれた」ということであ
ります。南無阿弥陀仏のお喚び声（ごんべ）がまことになれたとは、親様が「お前を助ける」とお
せられることがまこと（本真）になれたので
あります。これが信心であります。

信心とは、何か変わったことが胸にでき湧
くように思う。これで往生の大事が難しくな
ります。そうではありません。ただ大悲の親
様のお慈悲の
まことを、本
真にお受けす
る、これが信
心であります。



〔高松悟峰和上〕

二

ところがこんな心持ちの方がいます。「如
来さまの仰せは、それは本真（ほんま）でありましよう。
如来さまの仰せにウソがあるとは思われませ
ん。しかし『さて、私が後生（ごしょう）は…』と考えて
みますと、どうもこう、お浄土に参れそうに
ありません。そうして「どうも、これがお
領解（りょうげ）というものであろうか、これがご信心と
いうものであろうか」と、わが胸を試験して
みたい考えが起こります。

「弥陀のご本願は真実であることに疑いは
ありません。如来の仰せにウソはない、詐（いつわり）
はない…と聞かせてもらう程、どうも私の後
生（ごしょう）が不安です」。この如来の本願は間違わぬ

が、私の後生の助かることが怪しいと言う。
それはやはりご本願を疑っているのです。
たとえば宝くじが当たったと思つて、私の
だと思つて金を取りに行つたら、それは番号
の読み違いで、自分のでなかつたという話が
ある。如来さまのご本願は本真（ほんま）だ、しかしそ
れは私ではない。私ではないと思つながら、
後生（ごしょう）の大事が危ぶまれるのです。ちようどこ
の宝くじの話のうらであります。

本真（ほんま）に違いないが、どうも私のでない、と
か言う。しかるに、ここをよくよくお聴聞し
てみると、極楽は私のものであつた。また弥
陀（だいた）の正覚（しょうかく）は全く私のものであつた。よく聞い
て見れば、みな私のものであつた。私だけ参
れぬ、私だけが行（ゆ）かれぬと思つていたが、よ
く聞いて見れば、お浄土の財産はみな、私の
ものとわかるのです。

「阿弥陀如来はよその仏にあらず、お前の
親（おや）ぞよ。十劫（じゅうくわつ）の昔に正覚（しょうかく）してより待つておる
のは、他の者ではない。お前を待ち受けてい
るのだ」。この如来さまのお喚び声（ごんべ）が本真（ほんま）に
なつたのが信心であります。あのお喚び声（ごんべ）が
わがことにもらえた時、往生は決定（きまつ）するのです。
如来さまの願力（がんりき）のおかげで参らせてもらうの
であります。

三

和歌山に喜六太夫（きろくだいふ）という方がおられた。
ある法座で、一同にむかつてご講師が「こ

の中に、地獄へ行くものが一人いる」と言わ
れて、皆は互いに顔を見合わせて、それは一
体誰だろうかと考えました。しかし皆が帰つ
てしまつた後で、ただ一人、喜六太夫（きろくだいふ）が残り
まして、「ありがたや、私一人がその地獄行
きであります」と言つて喜びました。翌日の
法座で、今度はご講師が「この中に、極楽行
きが一人ある」と言われました。皆は顔を見
合せて、それは誰のことかと探しました。
しかしこれも皆が帰つてしまつた後で、喜六
太夫（きろくだいふ）が一人残りまして、「ありがたや、この私
が極楽へ参らせてもらいます」と喜びました。
地獄と言われて、それは誰であろうと他人
を見る。極楽行きと言われて、それは誰であ
らうかと他人を探す。これは本当にお慈悲が
聞こえたのではない。落ちると言われるも
他人事（ひとごと）でない。参らすと言われるも他人事（ひとごと）
でない。「落ちるこの私がお慈悲で参らせても
らえる」と、親様のお声（ごんべ）が我が物（もの）に聞こえた
のがお領解（りょうげ）であります。（おわり）

彌陀ノ名號ト云フ
誓願不思議多ク
御名ヲ稱スルニ
官殿ノ字ニ五百歳
佛恩報念多ク
念心ツテニミテ
全ク喜ぶヨキ



総代長就任の挨拶

白田 尚則

慈光のもと、皆さまにはご健勝にて、お念仏の日々とお慶び申し上げます。

このたび、小方総代長の退任にともない、専徳寺総代長の重責を引き受けることとなりました。僭越ながらこれをご縁に、いよいよ聞法に励むとともに、微力ながらご法義繁盛のお役に立てばと思っております。

ご住職様ご指導のもと、歴史と伝統ある日照山専徳寺を、ご門徒の皆さまと共に護持して参りたく存じます。ご協力の程、何卒よろしくお願ひ申しあげます。

また専徳寺の各組織の皆さまには、日頃より大変ご尽力くださり敬服しておる次第です。今後も益々充実した組織として、寺院の法座活動等を盛り上げて参りたく、ご協力よろしくお願ひ申しあげます。

今時代は様々な難しい問題をかかえています。苦難の多い時代だからこそ、正しい教えをより所として生きる大切さを痛感いたします。

多くのご門徒や有縁の皆さまがお互いに声をかけてお寺に参り、ご一緒にお聴聞し、念仏の輪が少しでも広まりますことを心より念じ、就任の挨拶とさせていただきます。

合掌

● 仏婦秋研修旅行

【日時】 11月2日(日)

【場所】 萩方面

〔大河ドラマ館・萩反射炉と造船所跡(世界遺産)等〕

【定員】 45名

【費用】 3500円

【集合】 7時45分(釣具店「かめや」(通津))

【申し込み】 電話もしくは仏婦月例会にて、10月25日(日)までにお申し込みください。

久しぶり
の旅行です。
ふるってご
参加くださ
い。



〔萩反射炉〕

■ 旅行行程 ■

玖珂C~美祿東JT~絵堂C	萩・大河ドラマ館 10:20 ~ 11:00	萩反射炉 11:10~11:25
萩恵比須ヶ鼻造船所 11:30 ~ 11:45	萩観光ホテル 12:00 (昼) 13:20	光山寺 13:50~14:50
萩・村田蒲鉾 15:05~15:45	絵堂C~美祿東JT~玖珂C	通津・専徳寺 17:50

ご紹介

広島仏教学院

— 仏教を基礎から学ぶ —

仏教学、真宗学、勤式ごんしき(読経や作法)など、基礎から仏教、真宗に関する幅広い分野を、負担少なく学ぶことができます。ご興味のある方は住職まで声をかけてください。

HPアドレス

<http://www.gakuryo.jp/>



寺内だより

み仏にいだかれて〔葬儀勤修〕

8月7日御往生

北町 藤井 則枝様 (91)

喪主 今枝 信様

8月10日御往生

黒磯 木村キミ子様 (89)

喪主 木村 光成様

9月2日御往生

本呂尾 藤重 文雄様 (93)

喪主 藤重 雅也様

●ご恩を偲びつつ〔法事勤修〕(8月2日～9月13日)

〔通津〕後川俊子3、兼国幸満1、古川求100、広中勲25、米村悦雄7、〔保津〕穴水徳幸100、岡部美代子1、〔青木〕後藤奈良市1・33、末次千鶴子3、弘本秀彦1、森田幸一25、村岡貞子13、佐々辺鉄雄33、〔黒磯〕片岡良太1、〔藤生〕山根洋子7・7、弘中弘子7、岡迫孝和・博人50、〔南岩国〕田坂佳子7、岡村悟7・17、〔由宇〕島田義昭3、内藤カツミ3、〔周東〕津村昌宏150、〔市内〕仲田真規7、土井一生7・50、谷重勝信13、〔広島〕川本安則33、〔東京〕大倉育信3・13

●おめでとぅございます (仏壇入仏)

・8月13日 御三幅 黒磯 宮本 義明様
・8月13日 御三幅 南岩国 米本 俊一様
・9月11日 御三幅 藤生 池本 淑子様
お給仕の慶び一人に存じます。

専徳寺納骨堂受付中

●一泊合宿 (8月6日～8月7日)

今年も龍大伝道部の学生さん(4名)が手伝ってくれました。保護者の方もお手伝いありがとうございました。参加数) 39名



●歡喜会法要余香 (8月27日・28日)

〔講師〕松林行圓師〔参詣数〕(27日) 昼座117名、夜座31名、(28日) 昼座55名。
仏婦理事様、法要総代様有り難うございました。

●拝受いたします (御懇志)

●金壹拾萬円 田布施 峯石 紀子様
歡喜会法要のご縁としてお供えを頂戴いたしました。勿体なく存じます。
ご一緒に法座で仏法をお聴聞できますこと、住職としてこれ以上の喜びはありません。

庫裏外壁修繕

前々回(417号)の寺報で報告しました「庫裏の外壁の亀裂」が綺麗に戻りました。



ひさし
〔本堂への入り口の上の庇も元通りに〕

●第16回岩国組少年少女のつどい(9月6日)

〔場所〕法寿寺・川西小学校

〔テーマ〕つながり

〔内容〕大運動会

〔参加者〕テラーブランドン、テラーコーリー、平井もえり、平井美桜、弘中慈生、弘中南歩

